

平成29年度 第4回美術館セミナー

美術教育講演会

「百均造形のスズメ」

ワークショップ「百均造形－楊枝で作る球体オブジェー」

- 1 日時 平成29年12月10日（日）13：30～16：00
- 2 場所 土浦市立図書館 4階研修室
- 3 参加者 県南地区の小学校・中学校・高等学校の教員：29名
絵画教室等の指導者及び美術教育に関心のある一般：1名 合計30名
- 4 講師 森竹巳氏（女子美術大学非常勤講師）



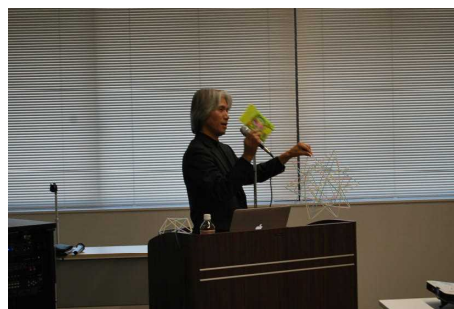
【森竹巳氏プロフィール】

- 1951年 群馬県太田市生まれ
- 1976年 東京藝術大学大学院修士課程修了
〈基礎造形及び理論専攻〉
- 1986年 第16回日本国際美術展（東京都美術館）
第12回日仏現代美術展（'87 '89東京都美術館）
- 1996年 天理ビエンナーレ（'98大阪市立美術館他）
- 1998年 「森竹巳造形展」（東毛学習文化センター）
第13回現代日本絵画展（2000宇都宮市文化会館）
- 2001年 第11回吉原治良賞美術コンクール（大阪府立現代美術センター）
- 2009年 群馬の美術1941-2009（群馬県立近代美術館）
- 2016年 「森竹巳の百均造形」（高崎市美術館）

- 5 活動内容
13：00～13：30 受付
13：30～14：50 美術教育講演会
「百均造形のスズメ」
15：00～16：00 ワークショップ
「百均造形－楊枝で作る球体オブジェー」



「百均造形」展の作品紹介



作品の1つを実物で紹介

「百均造形」とは、森竹巳氏が作りだした造語であり、商品登録もされているそうです。

百均ショップやホームセンター等で手に入る材料を使って制作された作品のことをさします。

講演会では、高崎市美術館で開催された森氏の「百均造形」の展示会を画像と共に紹介いただきました。ストロー、輪ゴム、ガムテープ、綿棒などどこにでも売っている身近な材料が驚くような作品に変身する。森氏は、理論に裏づけされた手法と効果によって造形作品へと変化を遂げる、これが「百均造形」の面白さだと話されました。



「楊枝で作るオブジェ」の説明



参加者の制作の様子

ワークショップでは、「楊枝で作るオブジェ」を制作しました。直径7cmのスティールボールに500本の楊枝をさしていくものです。端から指すのではなく、中心からさしてバランスをとりながら隙間を埋めていくのです。

身近なものを扱うとしても構成力が問われる、指導する側は、そのことを理解した上で授業づくりをする必要があると話がありました。

身の回りにある当たり前のものも、考え方を変わると別の形が見えてくる。今までとは違う角度から物事を見て、日常生活に新しい発見を生み出すことを「百均造形」は教えてくれたように感じました。



講師への質問



作品を並べると面白い